



佐藤 信 座・高円寺 芸術監督

1960年代からの小劇場運動の担い手のひとりとして、1970年から90年までの二十年間、黒色テントによる全国120都市におよぶ移動公演をおこなう。オペラ、コンテンポラリーダンス、ショウ、糸操り人形芝居、日本舞踊、能など、幅広い分野の舞台演出の他、「アジア演劇」「演劇の公共性」「演劇と教育」「コミュニティシアター」など、演劇と社会の境界をめぐる発言と実践を続け、近年は近隣アジア都市との舞台芸術のオルタナティブネットワーク形成に力をそいでいる。座・高円寺(杉並区立杉並芸術会館)芸術監督。2017年、横浜の下町に、小劇場、スタジオ、宿(ドミトリー)を併設した民間アートセンター「若葉町ウォーフ」を開設。



撮影: Jouji Suzuki

吉本 光宏 ニッセイ基礎研究所 研究理事・芸術文化プロジェクト室長

1958年徳島県生。文化政策や文化施設の運営・評価、創造都市、五輪文化プログラムなどの調査研究に取り組むとともに、世田谷パブリックシアターや東京オペラシティ、いわきアリオス等の文化施設開発のコンサルタントとして活躍。文化審議会委員、東京芸術文化評議会評議員、東京2020組織委員会文化・教育委員、企業メセナ協議会理事、日本文化政策学会理事、東京藝術大学非常勤講師などを歴任。主な著作に「文化からの復興—市民と震災といわきアリオスと(水曜社)」 「アート戦略都市(鹿島出版会)」など。



渡辺 弘 彩の国さいたま芸術劇場ゼネラルアドバイザー／岡山芸術創造劇場ハレノワプロデューサー

1953年、栃木県生まれ。80年より情報誌『シティロード』の編集などを経て、演劇ジャーナリストとして活動。84年、西武百貨店に入社し「銀座セゾン劇場」の開業準備、87年開場より制作業務を行う。89年、東急文化村に入社しBunkamura開業準備に携わり、開場後は「シアターコクーン」の運営、演劇制作を行う。03年より長野県松本市の「まつもと市民芸術館」の開業準備に携わり、開場後はプロデューサー兼支配人として運営、制作業務を行う。06年10月より(公財)埼玉県芸術文化振興財団(「彩の国さいたま芸術劇場」)に移り、業務執行理事兼事業部長に就任。現在はゼネラルアドバイザー。22年10月、今年開館の岡山芸術創造劇場プロデューサーに就任。



ホスト＝ 串田 和美 まつもと市民芸術館 総監督

1942年生まれ。俳優、演出家、舞台美術家。1966年、劇団自由劇場を結成。『上海バンスキング』などで人気を集める。1985年～96年まで東京渋谷のBunkamuraシアターコクーン初代芸術監督を務める。2003年4月、まつもと市民芸術館館長兼芸術監督に就任(08年4月から芸術監督、21年より総監督)。まつもと市民芸術館での主な作品に『信州・まつもと大歌舞伎』『空中キャバレー』などがある。07年に第14回読売演劇大賞最優秀演出賞受賞。08年に紫綬褒章、13年に旭日小綬章を受章。15年にシビウ・ウォーク・オブ・フェイム賞を受賞。



進行＝ 津村 卓 信州アーツカウンシル アーツカウンシル長／(一財)地域創造プロデューサー

1985年大阪ガスの扇町ミュージアムスクエア企画、副支配人兼プロデューサー。87年兵庫県伊丹市立演劇ホール(アイホール)チーフプロデューサー。95年より(一財)地域創造プロデューサー。その後びわ湖ホールプロデューサー、北九州芸術劇場プロデューサー・館長。上田市交流文化芸術センター館長。16年より長野県芸術監督団。現在は信州アーツカウンシルと(一財)地域創造で活動。松本市では芸術館設計コンペ審査委員、企画運営委員会委員長。

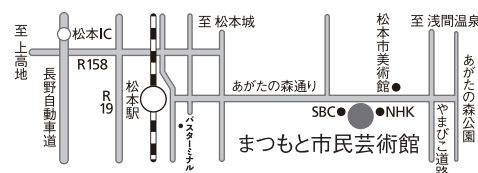
■本シンポジウムの配信について

シンポジウムの様子をダイジェスト版として編集した映像を「まつもと市民芸術館の公式 YouTube」にて公開していきます。詳細についてはまつもと市民芸術館 HPのおしらせにてご確認ください。

まつもと市民芸術館
YouTube



■アクセス 〒390-0815 長野県松本市深志 3-10-1



バス：JR松本駅お城口(東口)、駅前バスターミナルから「市民芸術館」下車
徒歩：JR松本駅お城口(東口)からあがたの森通りをまっすぐ東へ800m、徒歩10分
*駐車場の用意はございません。公共交通機関や有料駐車場をご利用ください。
*近隣商業施設等への無断駐車は他のお客様のご迷惑になりますのでご遠慮下さい。